

目 次

(1) 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況	p. 2
① 学生確保の見通し	p. 2
1) 定員充足の見込み	
2) 定員充足の根拠となる客観的データの概要	
3) 学生納付金の設定の考え方	
② 学生確保に向けた具体的な取り組み状況	p. 8
(2) 人材需要の動向等社会の要請	p. 10
① 人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	p. 10
② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものである	
ことの客観的な根拠	p. 10
1) 大学・短大・専門学校の教員	
2) 公設試験場・研究機関の研究員	
3) 民間企業の研究開発者	
4) 栄養教諭	
5) 自治体栄養職員のリーダー	
6) 地域における健康づくりのための栄養・運動指導者のリーダー	

(1) 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

生活支援研究科栄養学専攻博士後期課程における学生確保の見通し及び申請者としての取組状況は以下の通りである。

① 学生確保の見通し

1) 定員充足の見込み

生活支援科学研究科栄養学専攻博士後期課程の定員は2名である。本専攻では次のような入学者を想定している。特に、社会的需要が明確である3～8で示す社会人の入学生が比較的多数を占めることになると見込んでいる。

1. 本学栄養学専攻修士課程を修了する院生
2. 他大学の栄養学系の大学院を修了する院生
3. 大学、短期大学、専門学校等に在籍する教員
4. 医療・福祉・介護施設の現任職員
5. 官公庁等で栄養行政に従事する現任職員
6. 栄養教諭
7. 研究所・研究施設の職員
8. 機能性食品等の開発研究に携わる専門職及び研究職

本栄養学専攻は、栄養学を基盤としつつ、学際的横断的なアプローチにより、人々の地域生活を支援し、貢献できる実践的研究者の養成を目指している。この教育理念や目標に基づいて、修士課程修了者及び大学、短期大学、専門学校など、高等教育機関の教員を中心にしつつも、高度な学術研究、実践的な応用研究に取り組みたいと願う地域の

人々に対して広く門戸を開くものである。定員 2 名のうち、大学院修士課程修了後に直接進学する大学院生を 1 名程度、社会人 1～2 名、合計 2 名程度の入学を見込んでい
る。現在の修士課程在籍者数は、1 年生 1 名（学部からの進学者）、2 年生 2 名（社会人
学生）で、博士後期課程を設置した場合には、定員 2 名の充足は十分に見込まれると考
える。

2) 定員充足の根拠となる客観的データの概要

博士号取得に関するアンケート調査を社会人と健康栄養学部 4 年生を対象として実施
した（資料 1）。方法は、Google form による web 調査である。対象者の選定として、
社会人は佐賀県内にある栄養士養成校関連の教職員や佐賀県栄養士会会員、佐賀県農業
試験場等にメールにて案内を行った。学部 4 年生に対してもメールにて趣旨を説明し、
協力を求めた。令和 3 年 1 月 25～29 日の間に回答をお願いし、回答が得られたのは、
社会人 64 名、学部生 49 名であった。

社会人の結果を見ると、回答者の内訳は、現在、高等教育機関（大学等）に勤務して
いるものが 9 名、教育機関が 3 名、研究機関が 8 名、医療施設・福祉施設が 20 名、行
政が 19 名、企業が 3 名、その他が 2 名であった（資料 2：図 1）。回答者の学問領域
は、生活学・栄養学系が 42 名と多く、図 1 の医療施設・福祉施設の勤務者が多いことを
踏まえても、管理栄養士の現職が多いことが推察された（資料 2：図 2）。興味ある学問
領域においても、食品・栄養学系が多かった（資料 2：図 3）。工作上、博士号の学位取
得の必要性を感じているものが 10 名、どちらかというとも必要だと思っているのが 20 名

で、合計 30 名が必要と感じていた（資料 2：図 4）。その 30 名の職業の内訳は、高等教育機関（大学等）に勤務しているものが 7 名、教育機関（大学等以外）2 名、研究機関が 6 名、医療施設・福祉施設が 5 名、行政が 8 名、企業が 2 名であり、高等教育機関（大学等）に勤務している者 9 名中 7 名（78%）が博士課程取得の必要性を感じており、現実的に入学者として見込めるのではないかと考えた。博士課程の進学を実際に考えているのも 6 名おり、開設後からの入学に期待できるものと考えられる（資料 2：図 5）。博士号取得に際し、気になっているのは、仕事との両立 29 名、経費 23 名、勉強したい領域 20 名、家庭との両立 11 名、通学距離 8 名で、学問領域以外に仕事・家庭との両立を心配しており、時間の工面からいっても通学距離が近いことは魅力的な要素であると考え（資料 2：図 6）。近隣には栄養学系博士後期課程の設置がないことから、佐賀県唯一の栄養学系博士後期課程の需要は大きいことが推察される。アンケート回答者以外にも周囲に、博士号取得希望者がいる 10 名、希望しているかもしれない 15 名をあわせて、25 名程度の方が博士号取得を考えている可能性があり、アンケート回答者以外にも希望者が想定される（資料 2：図 7）。実際に本学に博士後期課程が設置された場合、進学を希望している者が 13 名、現時点では、設置概要が不明なため分からないと答えている者が 19 名であり、定員 2 名の 3 学年は問題なく確保できると考えられる（資料 2：図 8）。

学部 4 年生の結果を見ると、回答者の内訳は本学健康栄養学科 4 年生 49 名（100%）であった。興味ある学問領域においても、食品・栄養学系が多かった（資料 2：図 9）。

博士号の取得に興味があるのは1名、少し興味がある16名で（資料2：図10）、将来的な取得もこれから考えたい者が6名であった（資料2：図11）。大学4年生であり、現在、管理栄養士国家試験の受験勉強に集中していることから、博士号取得については漠然としていることが伺えた。学部4年生は、博士号取得において気になっていることとして、就学における経費と取得後の就職、学問領域についてあげていた（資料2：図12）。アンケート回答者以外にも周囲に、博士号取得希望者がいる2名、希望しているかもしれない3名をあわせて、5名程度の方が博士号取得を考えている可能性があり、アンケート結果以外にも希望者が想定される（資料2：図13）。実際に本学に博士後期課程が設置された場合、情報を収集してから考えたい者が22名であった（資料2：図14）。現時点では、設置概要が不明なため現実的な進路として考えることが難しいのであろうと推察された。

さらに、修士課程修了または修士課程修了相当（社会人2年以上で研究・試験に従事）の者に対し同様のアンケート調査を行った（資料1）。回答者の内訳は、現在、高等教育機関（大学等）に勤務しているものが7名、研究機関が8名であった（資料2：図15）。回答者の学問領域は、生活学・栄養学系が7名、農業系が8名であった（資料2：図16）。興味ある学問領域においては、食品・栄養学系が多かった（資料2：図17）。大学院を修了しているものが10名、現在大学院修士課程に在籍しているものが2名、大学院修士課程に在籍していないが、社会人で2年以上研究・試験に従事しているものが3名であった（資料2：図18）。学位取得の必要性を感じているものが9名、ど

ちらかという必要だと思っているのが4名で、合計13名が必要と感じていた（資料2：図19）。博士課程の進学を実際に考えているのは4名おり、開設後からの入学に期待できるものと考えられる（資料2：図20）。博士号取得に際し、気になっているのは、仕事との両立10名、経費10名、勉強したい領域7名、家庭との両立6名、通学距離2名で、学問領域以外に仕事・家庭との両立を心配しており、時間の工面からいっても通学距離が近いことは魅力的な要素であると考え（資料2：図21）。周囲に、博士号取得希望者がいる5名、希望しているかもしれない6名をあわせて、11名程度の者が博士号取得を希望する可能性があり、アンケート回答者以外にも潜在的希望者の存在が推測される（資料2：図22）。実際に本学に博士後期課程が設置された場合に、進学を希望している者が5名、現時点では、設置概要が不明なため分からないと答えている者が4名であり、定員2名に対して十分な社会的需要があるものと考えられる（資料2：図23）。

以上のアンケート結果からも、特に大学教員からの博士号取得の需要が高く、本学に博士後期課程が設置された場合には、進学先として選択する可能性が高いものと予想できる。また、佐賀県内および隣接県（福岡県、長崎県、熊本県）に栄養学系大学院博士後期課程が存在しないことから、佐賀県に加えて隣接三県の社会人を学生として受け入れることができる立地条件であることも学生確保に有利である。隣接県域内（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県）における栄養系修士課程の入学定員は33名（福岡県14名、佐賀県2名、長崎県12名、熊本県5名）であり、修士の学位を取得して社会人となっ

ている者は多く、また、栄養系大学（管理栄養士養成校）の卒業者は毎年約 935 名（入学定員ベースで、福岡県 525 名、佐賀県 120 名、長崎県 180 名、熊本県 110 名）に昇り、多くの社会人を輩出していることから栄養系既卒者の裾野は広がっている。一方で、大学院博士課程を有する大学は隣接県内に中村学園大学（福岡県、入学定員 3 名）と長崎県立大学（長崎県、入学定員 3 名）の 2 大学のみで入学定員は 6 名にしか過ぎず、本専攻科の定員 2 名を加えて 8 名の博士後期課程の入学定員は修士課程の入学定員 33 名に対して決して多くはなく、本専攻の学生確保については問題ない社会状況であると考えられる。

3) 学生納付金の設定の考え方

学生納付金を設定する際には、できる限り学生負担の軽減をしつつ、教育研究の充実と研究条件および環境を維持・継続するために必要な金額を設定している。

栄養学専攻博士後期課程は、「食と健康と栄養」の分野における高度で専門的な職業に従事するために必要となる、自ら学び、自ら研究し、自ら課題を解決する力を有する、人材の育成を目的としている。そのために、食品科学、健康科学、実践栄養学の分野において、自ら課題を見出して自立的に解決のための研究に取り組める研究者としての基礎能力の修得を目指す。科学的知見（エビデンス）を集め、情報を整理して必要な知識を積み重ね、自らエビデンスを創造し、その情報を発信する、この一連の能力の修得を主な教育目標としていることから、実験・実習にかかる費用についても学生納付金として設定する。

また、学生納付金を設定する上では、近隣の栄養学系大学院を参考にした。九州内において栄養学の研究で博士の学位を取得できる大学は2校のみであるが、私立の中村学園大学大学院栄養科学研究科博士後期課程の令和2年度学生納付金は初年次983,620円、2年次以降は853,620円であった。公立の長崎県立大学大学院人間健康科学研究科の令和2年度学生納付金（県外居住者）は初年次888,800円で、2年次以降が535,800円であった。

上記のような九州地域における学生納付金の状況を踏まえ、本学栄養学専攻博士後期課程の初年度納付金は810,000円、2年次以降は610,000円とする。栄養学研究を志す者が経済的負担から大学院進学を躊躇することが無いように、公立大学程度の学費にすることで地域において栄養学系博士課程への進学を希望する者を支援することとした。

② 学生確保に向けた具体的な取り組み状況

学内関係部署との密接な連携のもとに、大学院進学相談会をはじめとした組織的な広報活動に取り組む。また、学生募集とともに社会的認知を向上させるためにも、具体的な学びと将来像の可能性についての広報活動を行う。具体的には、パンフレットを作成し、関連の学会や人的ネットワークを活用して、生活支援科学研究科栄養学専攻の教育理念や人材育成の目的等について、積極的に進学を検討する可能性の高い近隣の大学教員、医療機関勤務の管理栄養士、研究機関等に訴求する。あわせて、大学案内パンフレットや大学の入試サイトへの掲載、ホームページのさらなる充実を図る。

なお、本学健康栄養学専攻（修士課程）の定員超過率が0.50であるが、その要因として本

学健康栄養学科（学部4年）からの進学者が少ないことが要因であると考え。平成29～令和3年度の修士入学生は、社会人が3名、学部卒が1名である。本学の学部生には管理栄養士免許取得とその後管理栄養士として働くための技能修得に多くの時間を割り当てる指導を行っており、研究に接して興味を持つ場面が比較的少なかった。従来、管理栄養士としての就職率も高いことから、大学院に進学する動機も育ち難く、研究的キャリア形成に重きを置いていない意識傾向にある。学部時代から研究の楽しさや興味関心を持てるように、令和3年度の新カリキュラムより1年次からのゼミ制度を充実させ、研究室での研究の様子や、上級生との関係を強化する中で、自然と大学院進学を視野に入れる体制作りを進めている。また、県内の社会人にも修士課程の案内を強化し、博士後期課程へも進学できるメリットを強みとして修士課程進学者を募ることで、併せて定員確保を図る計画である。

本学の健康福祉学部社会福祉学科においては平成29～令和2年度の4年間の平均定員充足率は0.60に落ち込み、その対策に注力している状況である。志願者減少の背景として、近年の福祉現場に対する偏った報道によって福祉の仕事は「3K（きつい、汚い、危険）」というイメージが定着したことで若者の福祉離れが進んだことが大きい。社会福祉系学科の志願者減少は全国の大学で進み、募集定員の削減あるいは募集停止に踏み切った大学も多い。とくに、本学の位置する九州圏では、社会福祉士養成校協会に加盟している養成校が計32校もあり、少ない志願者を大学間で奪い合う状況となっている。定員確保に向けた対策として、(1) 文部科学省の「私立大学研究ブランディング事業」に採択された「認知症予防推進プログラム」(SAPS)による「認知症支援」の導入などの教育活動の充実(2) 演習や臨床場面を取り

入れたプログラムを導入したオープンキャンパスやリニューアルした大学HPとSNSを用いた広報活動の強化 (3) 佐賀県社会福祉協議会や佐賀県高等学校教育研究会福祉部会との共催事業を進めるなど地域との連携強化 (4) 多様な福祉分野の第一線で活躍している5千名を超える卒業生の人的資産を生かした就職支援 (5) 海外からの短期・長期の留学生受入れの強化、などを強力に進めている。少子高齢化、核家族化、生活スタイルや価値観の多様化により、福祉に対する社会的ニーズは高まっている。本学社会福祉学科は、保健・医療・福祉関連の他学科と連携し、これまでのイメージを変えるような魅力ある社会福祉が学べる学部学科の再構成を検討し、定員充足を目指している。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本専攻では、ディプロマ・ポリシーである基盤的能力、専門的能力、創造力の3つの能力を身に付けることで、様々な分野で自ら課題を見出し、それを科学的方法にて解決できるリーダー的人材を養成することを目的としている。本専攻が養成する具体的な人物像は、大学・短大・専門学校の教員、公設試験場・研究機関の研究員、民間企業の研究開発者、栄養教諭、自治体栄養職員のリーダー、地域における健康づくりのための栄養・運動指導者のリーダーである。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

本専攻が養成する人物像に対する社会的需要は以下のとおりである。

1) 大学・短大・専門学校の教員

「食と健康と栄養」の分野はいつの時代においても人々の関心が高く、食糧自給と国民の健康は国家の重要課題である。食品科学、健康科学、実践栄養学の分野における教育研究活動は極めて重要であり、これに携わる人材の育成は適切にされなければならない。しかしながら、これらの分野の大学教員は不足しており、とくに現場研究の実績がある管理栄養士資格者で資質の高い教員は不足している。大学院設置基準では、教授の資格として博士の学位を有することが定められているが、これに該当する人材養成が十分ではないことがその一因であろう。全国的に見ても、博士後期課程において、栄養学研究者を育成する大学院は37で非常に少ない（資料3）。また、九州内に限れば、長崎県立大学大学院人間健康科学研究科栄養科学専攻（長崎県）、中村学園大学大学院栄養科学研究科栄養科学専攻（福岡県）の2つのみであり、九州において、博士の学位を持った管理栄養士で、専門分野において高度の知識と技術を持った大学教員は非常に不足している。また、現場研究の実績がある管理栄養士資格者においても、大学教員として採用する際には研究業績が求められるが、そこが伴わない管理栄養士が多いのが実情である。管理栄養士の教育課程において、資質の高い教員は不足している。仕事をしながら管理栄養士のキャリアを積み、大学院博士課程に在籍し、研究を遂行する環境整備をしなくては、この問題は解決しない。アンケート調査結果からも、職場から近いことが、博士後期課程進学ハードルを下げる可能性があることから、佐賀県においても博士後期課程を設置し、質の高い管理栄養士、実践に強い大学教員の育成すること

は、喫緊の課題であると考える。

2) 公設試験場・研究機関の研究員

佐賀県、九州各県には栄養学的知見を必要とする公設試験場・研究機関（農業試験場・研究所、水産試験場・研究所、衛生試験場・研究所など）が102ヶ所以上設置されている（資料4）のに対して、栄養学系大学院博士課程を設置する大学は九州内に2ヶ所（合計入学定員は6名）にしか過ぎず、研究現場において栄養学研究者の不足は常態化している（資料3）。公設の試験場では、高度な専門性やプロジェクトの企画立案や実施する際のリーダーシップを持った人材が求められている。例えば、佐賀県の農政企画課ではそのような人材育成のために大学院（博士後期課程）への入学を推進されており、授業料の半額を補助する助成事業まで行われていることから、社会的なニーズは十分にあると考えている。

3) 民間企業の研究開発者

市販薬の市場を上回る規模にまで急速に拡大した特定保健用食品の市場（資料5）を構成する各種企業においては商品の研究開発を支える人材の需要に対して我が国の大学・大学院は十分な人材供給を果たしているとは言えない状況が続いている。とくに、研究開発のリーダーとなる栄養学系博士号を取得した研究者の数は不足している。健康の維持・増進に果たす食品の機能性が注目され、「機能性食品」の新制度が平成27年4月にスタートした中、機能性関与成分をはじめ、種々の食品成分の保健の効果や安全性を科学的手法に基づき評価ができる人材の活躍の場がますます広がっている。栄養や機能性を重視した食品の研究開発にも高度の研究能力が求められる。博士の学位取得は自立して研究活動を行う能力や業績の証

となり、関連する企業や研究機関等が求める人材を培うこととなる。

4) 栄養教諭

2005年6月、わが国において「食育基本法」が制定されて以来、国民運動としての食育の推進が提唱されてきた。また、2008年に改訂された学習指導要領の総則に「学校における食育の推進」が示されたことは、学校における子どもたちの食育に携わる者にとって教育的価値が認められた意義深い動きであった。また、食に関する指導（学校における食育）の推進に中核的な役割を担う「栄養教諭」制度が創設され、2005年度から施行された。この制度においては、小中学校には栄養教諭を配置し、「給食を生きた教材」として食育に取り組むとされている。成長期の子どもたちに適正な食行動について教育し、その学習成果をその後の一生にわたって活かせる定着した知識技能へと導くことが、栄養教諭に期待されている。さらに、栄養教諭は、食育の推進を実施するにあたり中心的役割を担うことが期待され、他の教職員や地域社会と連携し、食育活動を実施することが求められている。学校教育の場における栄養・食生活教育の成果を上げるためには、その実践活動で得られた知見を、客観性のあるエビデンスとして情報整理し、現場から発信するようなリーダーシップのある人材が求められている。博士の学位を取得することで自立的な研究能力を発揮し、食育を通じた教育プランを企画立案し、実施できる栄養教諭のリーダー、さらには学校現場でのリーダー的存在として教育現場の活性化が期待されている。

5) 自治体栄養職員のリーダー

自治体栄養職員は、地域住民の健康増進に寄与する重要な役割を担っている。健康教育や

栄養相談、食環境整備などを行うことで、健康寿命の延伸や健康格差の縮小に向けて貢献するのも行政栄養士の重要な役目である。近年、高齢化社会が医療費の増加を招いており、これが我が国の財政を圧迫していると言われている。佐賀県の医療費は、1999年度は2,571億円であったが、2017年度には3,332億円に達した（資料6）。一人当たり医療費に置き換えると、1999年度の26.1万円から2017年度は40.4万円と増大している。特に、国民健康保険、後期高齢者医療費の増加が顕著で、これらを削減することが課題となっている。例えば、特定健診や特定保健指導の実施率を上げるという健康政策を実行し、生活習慣病の発症予防や重症化予防を促進する必要がある。そこで、住民が抱える健康問題の解決に向け、都道府県や市町村の健康政策の企画・立案できるリーダー的人材が求められている。

6) 地域における健康づくりのための栄養・運動指導者のリーダー

地域社会において、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）をはじめとする老年症候群の対策においても運動指導ができる栄養専門家が求められている。これらの対策として地域の事情を理解した上で有効な施策を立案できる研究者、現場研究をプロモートしながら健康づくりにおける栄養と運動の相互作用についてのエビデンスを発見し、それらの知見から健康づくりプログラムを提案、指導、評価を実施できる人材が求められている。例えば、株式会社くまもと健康支援研究所（熊本県）では、保健指導サービス、介護予防サービス、コンサルティングサービス等を通して、地域住民のQOLの向上に寄与する活動を行っている。ここでは、運動指導ができる管理栄養士の人材を求めている。また、様々なサービスの企画立案から評価までを行えるリーダーも必要とし、そのような人材の育成を要望されている。

資料

資料 1： 博士学位取得に関するアンケート調査（調査用紙）

資料 2： 博士号取得に関するアンケート調査結果

資料 3： 栄養学系大学院の設置状況

資料 4： 九州各県の公設試験場・研究所等の設置状況

資料 5： 拡大する特定保健用食品と機能性表示食品の市場

資料 6： 佐賀県の総医療費、一人当たり医療費の推移

資料 1

博士号取得に関するアンケート調査

調査用紙

各 位

西九州大学
学長 久木野 憲司

「西九州大学大学院」に「栄養学専攻博士後期課程」を設置することに
関するアンケート調査について（ご協力のお願い）

本学では、「複雑化・高度化する現代の栄養学的課題に現場にて取り組み、これを解決する課題解決能力およびその成果を国際誌に発表する情報発信能力を持った人材」を養成するため、大学院に栄養系の博士課程の設置を構想しております。

そこで、地域における博士号取得の需要について、調査したいと考えています。この調査で知り得た情報は、他の目的に使用することは一切ありません。また、無記名式で個人の特定はできません。本趣旨をご理解いただき、ご協力下さいますよう、よろしくお願い致します。

【大学院の概要】（現在計画中の予定であり、変更することもあります。）

- (1) 開学時期：令和4年4月
- (2) 研究科名称（仮称）：生活支援科学研究科 栄養学専攻 博士後期課程
- (3) 取得学位：博士（栄養学）
- (4) 修業年限：3年
- (5) 定員：2名（収容定員6名：男女共学）
- (6) 入学料・授業料：入学料200,000円、授業料610,000円
- (7) 設置場所：佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9（西九州大学神埼キャンパス内）
- (8) 社会人入学生への配慮：平日夜間と土日の受講のみでほとんどの単位が取得可能

<学生用>

博士号取得に関するアンケート

西九州大学大学院では、栄養系の大学院博士後期課程設置を構想しております。そこで、皆さんの博士号取得の需要について、調査したいと考えています。この調査で知り得た情報は、他の目的に使用することは一切ありません。趣旨をご理解いただき、ご協力いただければ幸いです。

*博士号とは、大学院の修士2年と博士課程3年を修了し、論文審査に合格した際に得られる学位です。

問1 あなたの所属についてお尋ねします

- ① 大学学部生
- ② 大学院院生
- ③ その他 ()

問2 あなたの学部について、主となる学問領域を教えてください。

- ① 生活学・栄養学系（生活科学、栄養学など）
- ② 医学系（医学・歯学など）
- ③ 農学系（農学、獣医学など）
- ④ その他 ()

問3 どんな領域の大学院に興味がありますか

- ① 食品・栄養（農学・家政学系を含む）系
- ② 生命・医学（薬学含む）系
- ③ 介護・福祉（看護学含む）系
- ④ 教育・体育系
- ⑤ その他 ()

問4 博士号の学位取得に興味はありますか

- ① 興味がある
- ② 少し興味がある
- ③ あまり興味がない
- ④ 全く興味がない

問9 西九州大学に栄養学の博士課程が設置された場合、進学先として検討しますか

- ① 進学先として検討したい
- ② 進学先として考えていない
- ③ 分からない
- ④ 博士号取得を考えていない

ご協力ありがとうございました

<問い合わせ先>

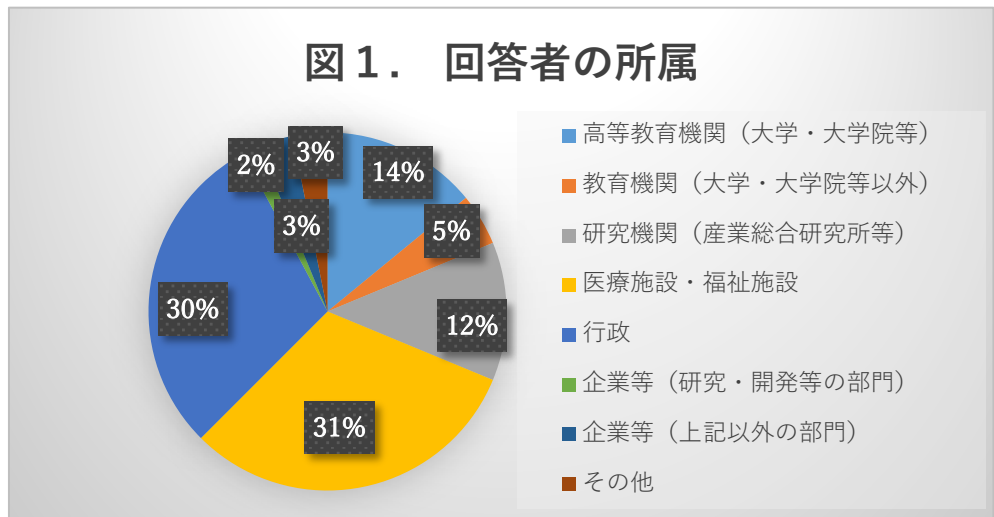
西九州大学大学院 健康栄養学専攻

メールアドレス eiyo@nisikyu-u.ac.jp

博士号取得に関するアンケート調査結果（社会人編）

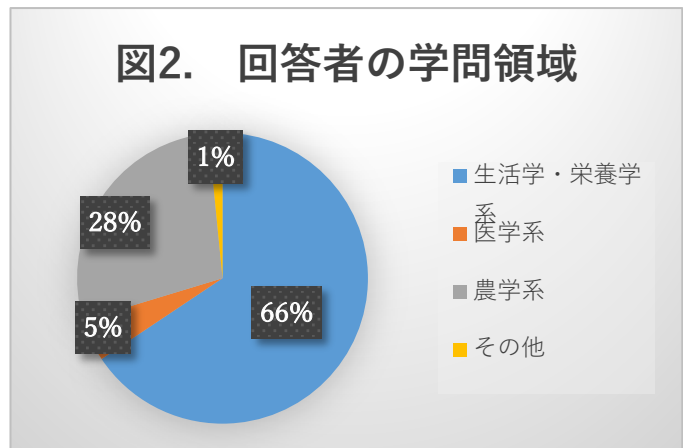
問 1 あなたの所属についてお尋ねします

高等教育機関（大学・大学院等）	9
教育機関（大学・大学院等以外）	3
研究機関（産業総合研究所等）	8
医療施設・福祉施設	20
行政	19
企業等（研究・開発等の部門）	1
企業等（上記以外の部門）	2
その他	2
計	64名



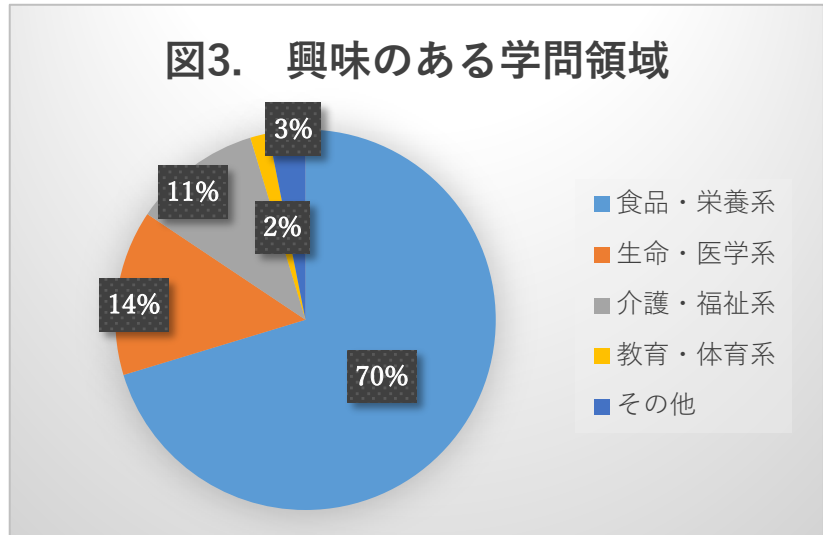
問 2 あなたの専門について、主となる学問領域を教えてください

生活学・栄養学系	42
医学系	3
農学系	18
その他	1
計	64名



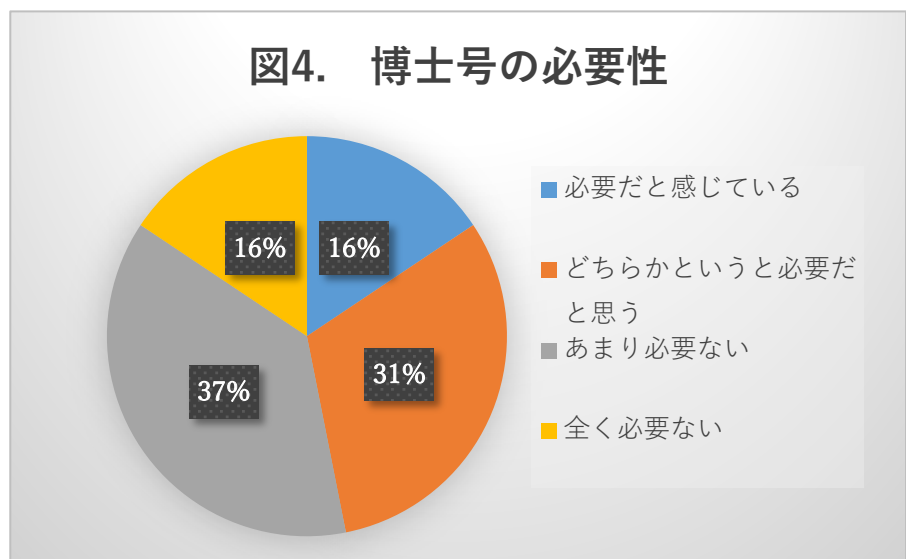
問3 どんな領域の大学院に興味がありますか

食品・栄養系	45
生命・医学系	9
介護・福祉系	7
教育・体育系	1
その他	2
計	64名



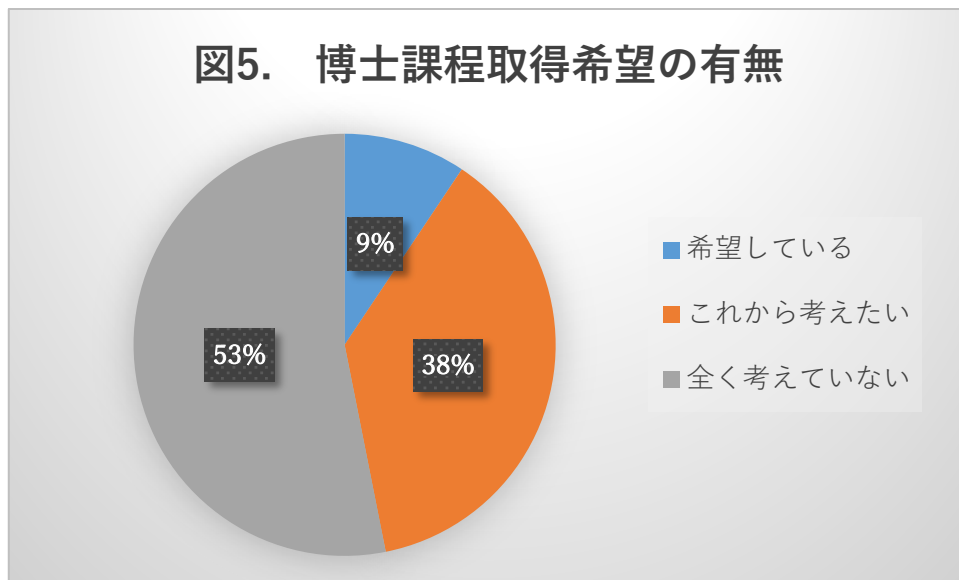
問4 工作上、博士の学位取得の必要性を感じていますか

必要だと感じている	10
どちらかという必要だと思う	20
あまり必要ない	24
全く必要ない	10
計	64名



問5 博士号の学位取得を希望していますか

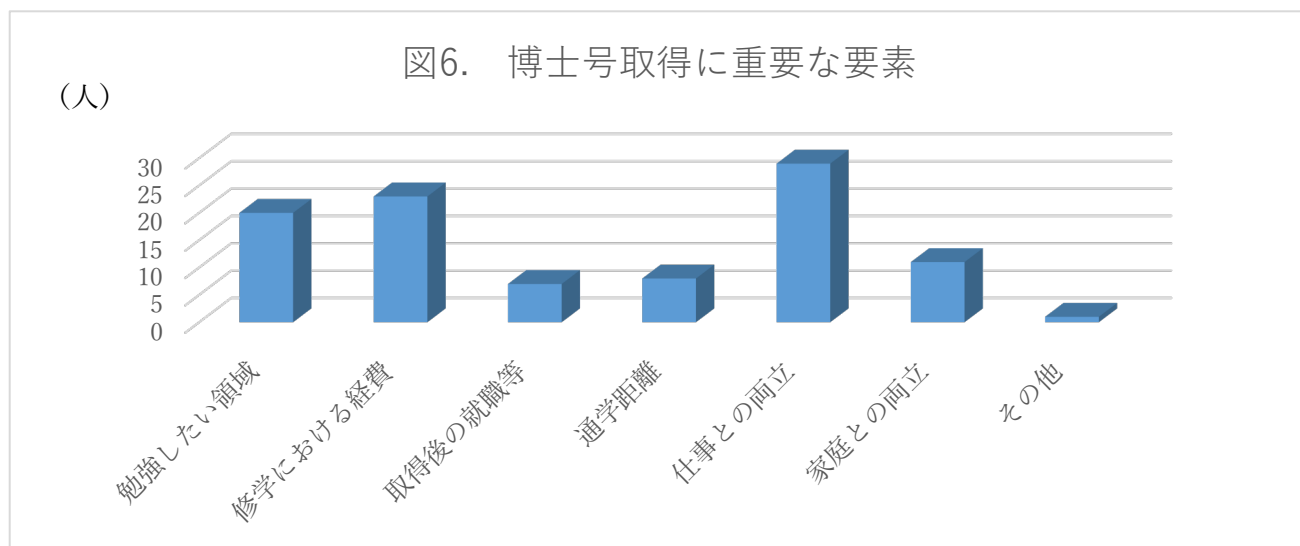
希望している	6
これから考えたい	24
全く考えていない	34
計	64名



問6 問5で①または②に○をつけた方にお尋ねします。

博士号取得にあたり、何が重要となりますか（複数回答可）

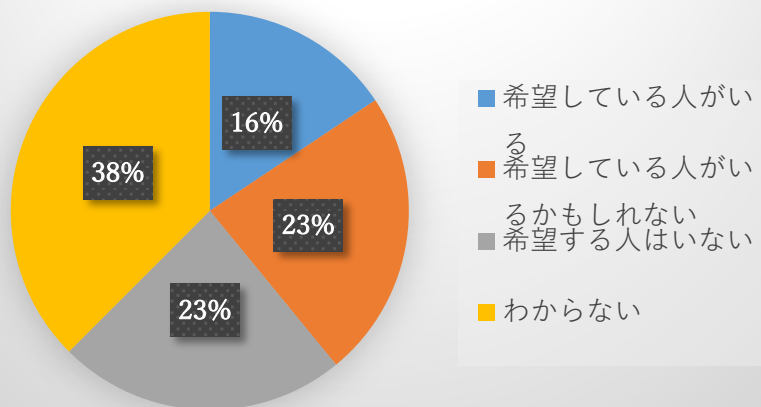
勉強したい領域	修学における経費	取得後の就職等	通学距離	仕事との両立	家庭との両立	その他
20	23	7	8	29	11	1



問7 あなたの関係している方で、博士号取得を希望されている人はいますか

希望している人がいる	10
希望している人がいる	15
希望する人はいない	15
わからない	24
計	64名

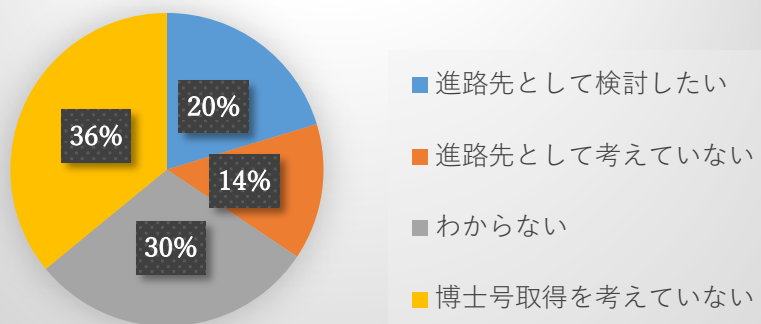
図7. 周囲で博士号取得を希望する者



問8 西九州大学大学院博士課程が設置された場合、進路先として検討しますか

進路先として検討したい	13
進路先として考えていない	9
わからない	19
博士号取得を考えていない	23
計	64名

図8. 本学を進路先として考えるか



博士号取得に関するアンケート調査結果（学部4年生編）

問1 あなたの所属についてお尋ねします

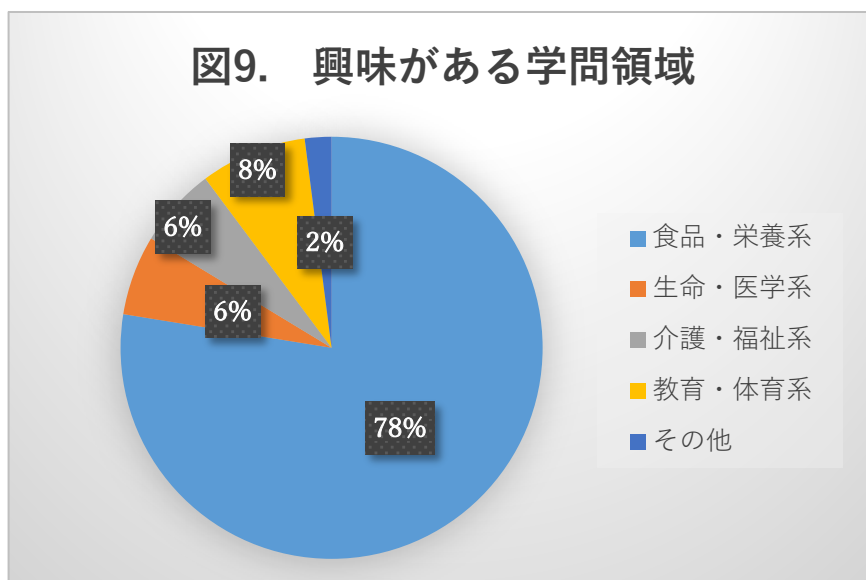
本学学部4年生	49名	100%
---------	-----	------

問2 あなたの学部・専攻について、主となる学問領域を教えてください。

本学健康栄養学科	49名	100%
----------	-----	------

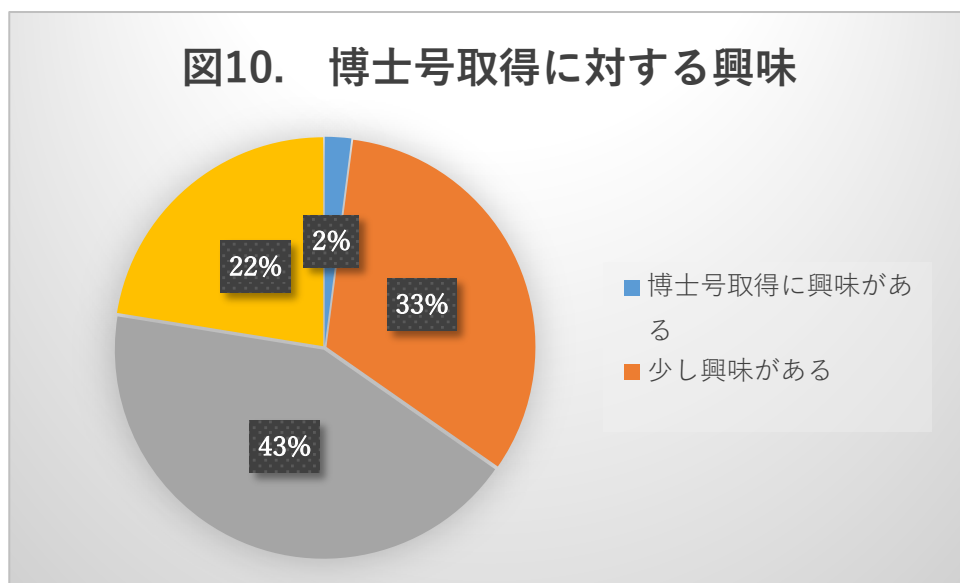
問3 どんな領域の大学院に興味がありますか

食品・栄養系	38
生命・医学系	3
介護・福祉系	3
教育・体育系	4
その他	1
計	49名



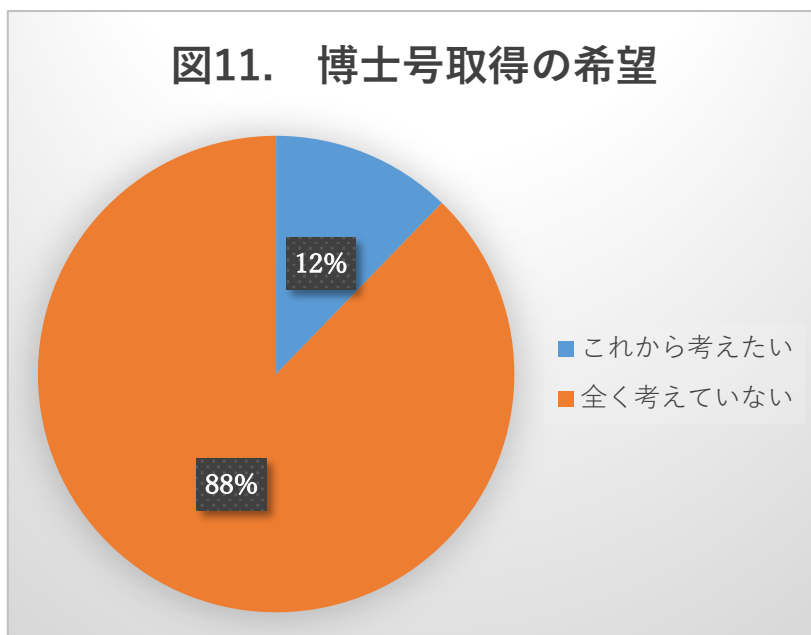
問4 博士号の学位取得に興味はありますか

博士号取得に興味がある	1
少し興味がある	16
あまり興味がない	21
まったく興味がない	11
計	49名



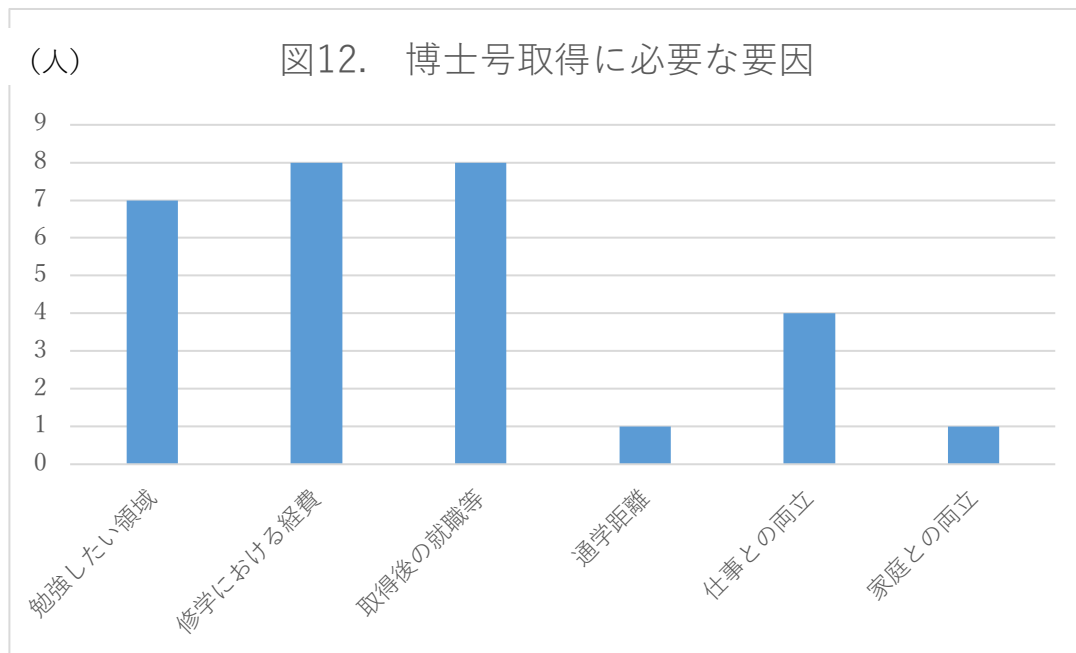
問5 将来、博士号を取得したいですか

これから考えたい	6
全く考えていない	43
計	49名



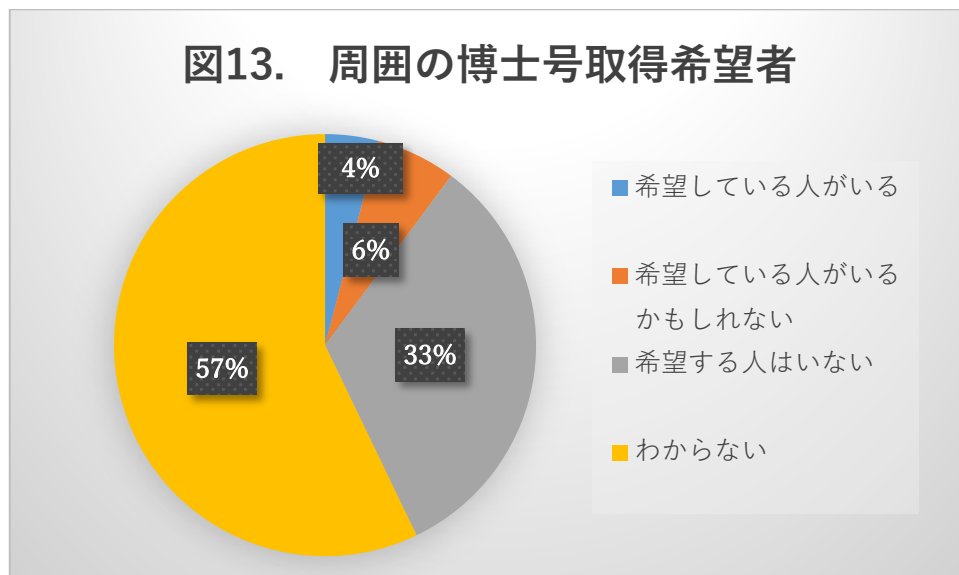
問6 問5で①または②に○をつけた方へお尋ねします。
 博士号取得にあたり、何が重要となりますか（複数回答可）

勉強したい領域	修学における経費	取得後の就職等	通学距離	仕事との両立	家庭との両立
7	8	8	1	4	1



問7 あなたのまわりで、博士号取得を希望されている方はいらっしゃいますか

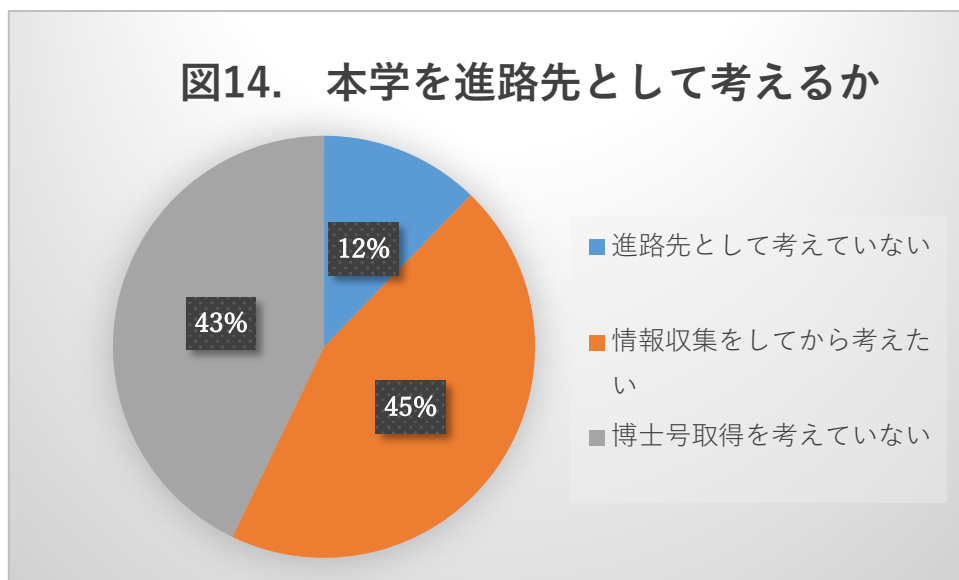
希望している人がいる	2
希望している人がいるかもしれない	3
希望する人はいない	16
わからない	28
計	49名



問 8 西九州大学大学院に博士後期課程が設置された場合、進学先として検討しますか

進学先として考えていない	6
情報収集をしてから考えたい	22
博士号取得を考えていない	21
計	49名

図14. 本学を進学先として考えるか

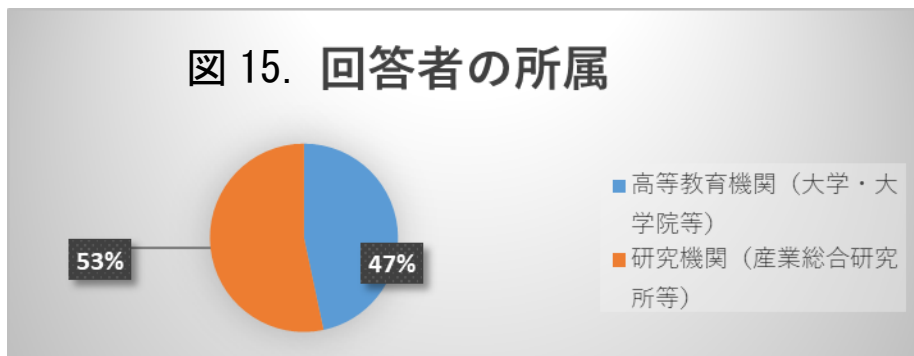


博士号取得に関するアンケート調査結果（修士修了者編）

問1 あなたの所属についてお尋ねします

高等教育機関（大学・大学院等）	7
研究機関（産業総合研究所等）	8
計	15名

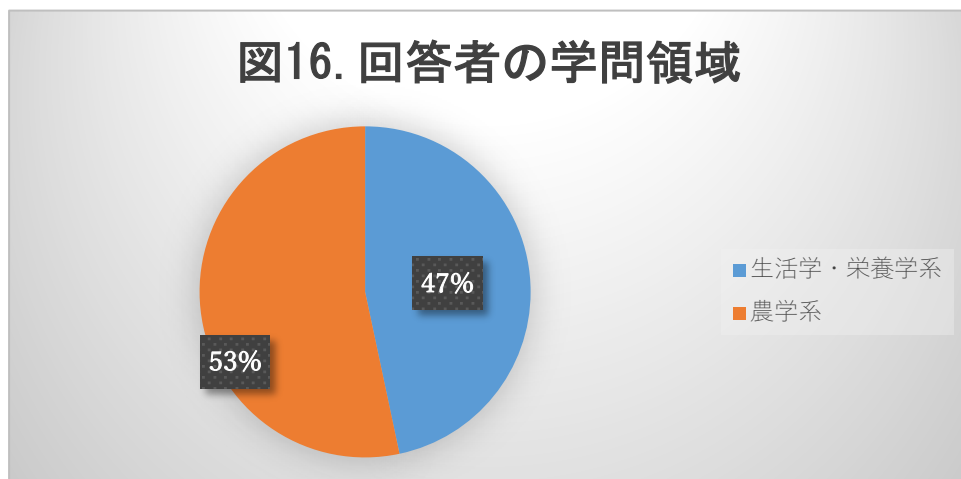
図15. 回答者の所属



問2 あなたの専門について、主となる学問領域を教えてください

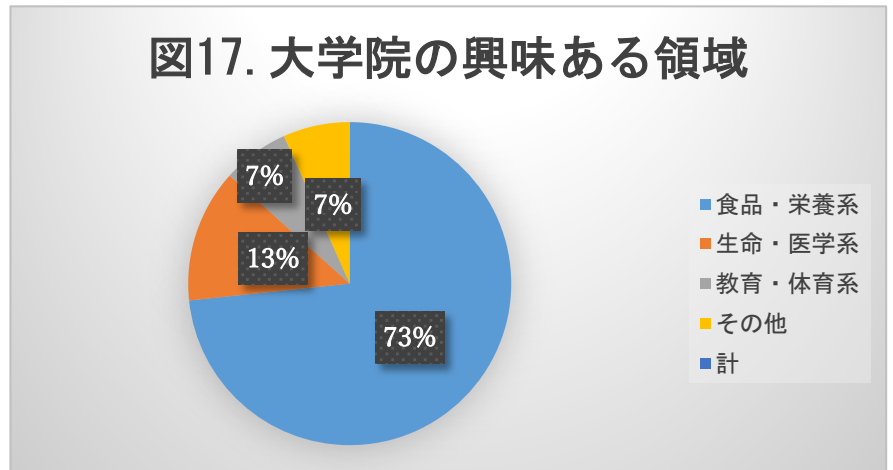
生活学・栄養学系	7
農学系	8
計	15名

図16. 回答者の学問領域



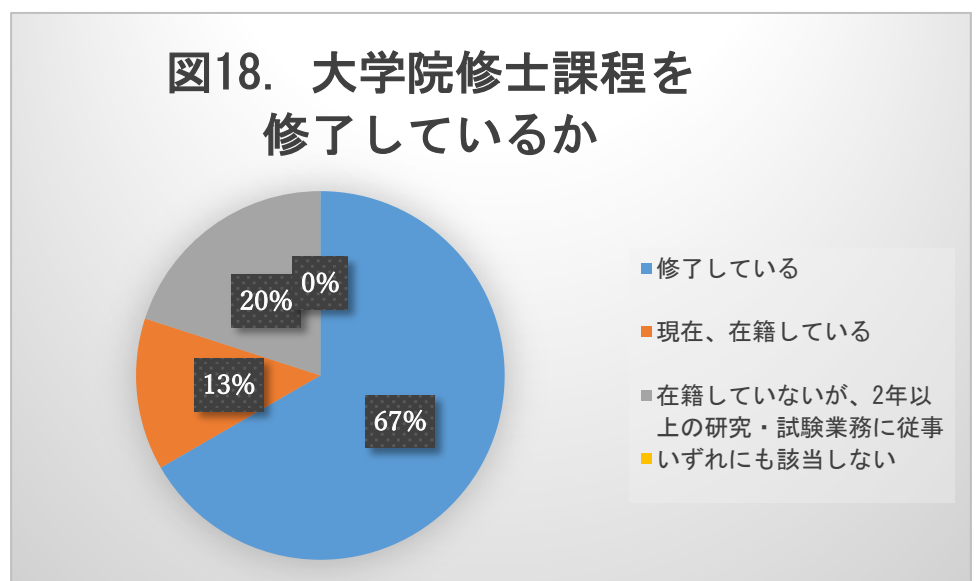
問3 どんな領域の大学院に興味がありますか

食品・栄養系	11
生命・医学系	2
教育・体育系	1
その他	1
計	15名



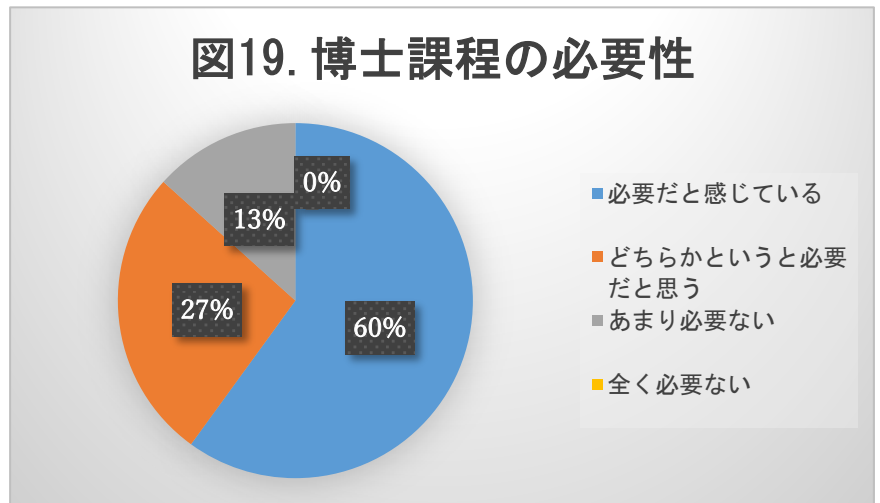
問4 大学院修士課程を修了していますか

修了している	10
現在、在籍している	2
在籍していないが、2年以上の研究・試験業務に従事	3
いずれにも該当しない	0
計	15名



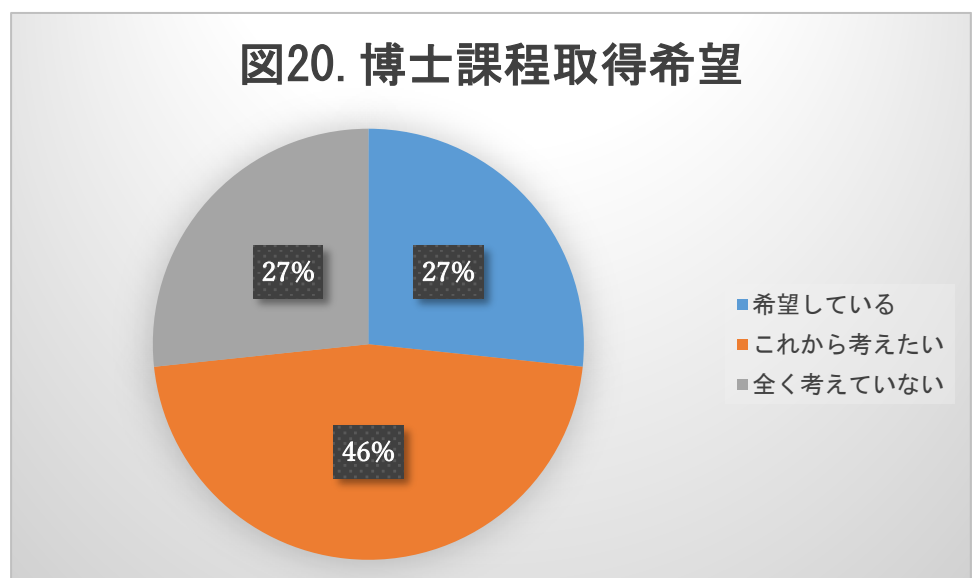
問5 仕事上、博士の学位取得の必要性を感じていますか

必要だと感じている	9
どちらかという必要だと思う	4
あまり必要ない	2
全く必要ない	0
計	15名



問6 博士号の学位取得を希望していますか

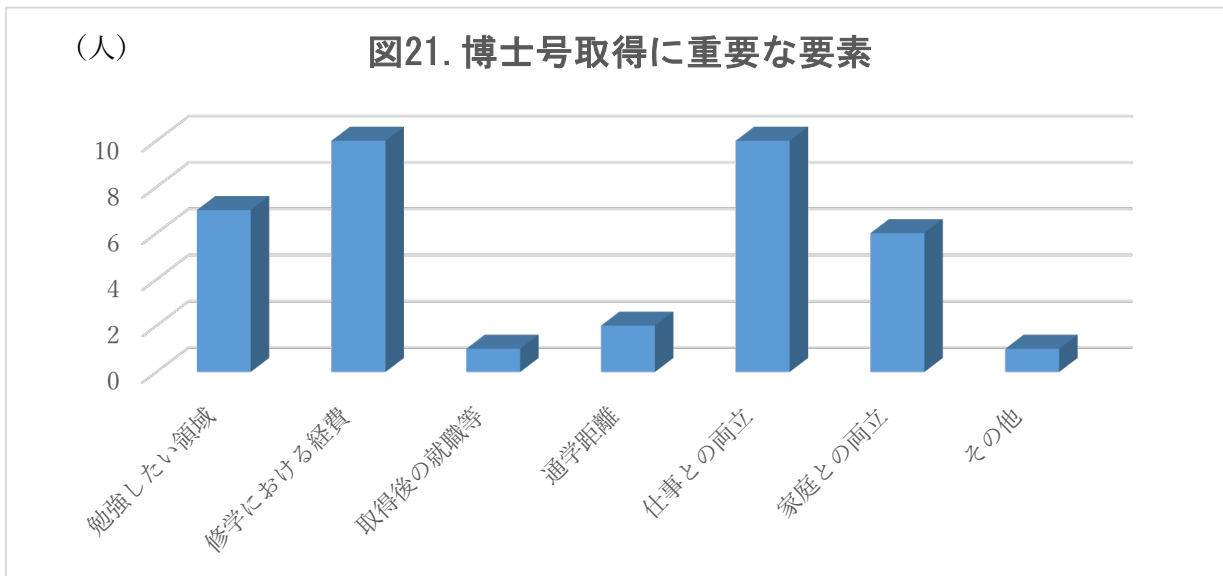
希望している	4
これから考えたい	7
全く考えていない	4
計	15名



問7 問6で①または②に○をつけた方にお尋ねします。

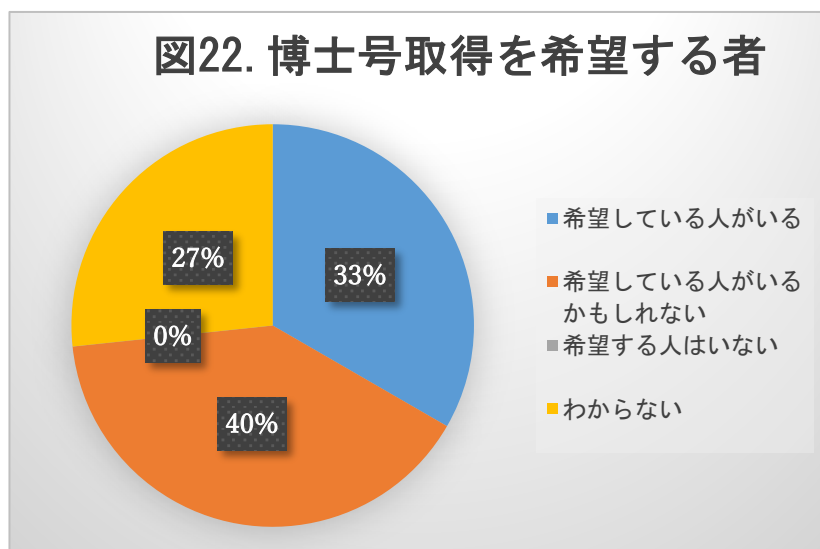
博士号取得にあたり、何が重要となりますか（複数回答可）

勉強したい領域	修学における経費	取得後の就職等	通学距離	仕事との両立	家庭との両立	その他
7	10	1	2	10	6	1



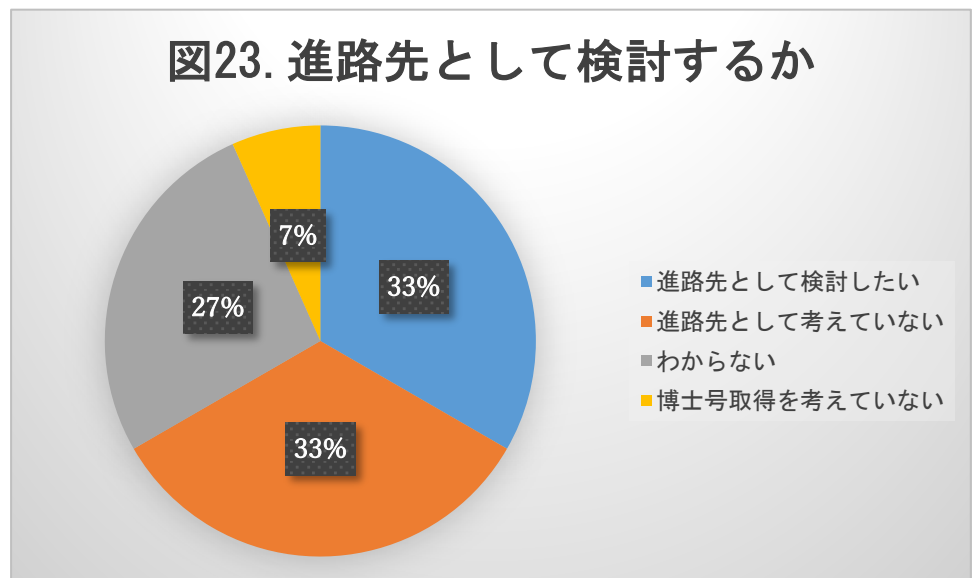
問8 あなたの関係している方で、博士号取得を希望されている人はいますか

希望している人がいる	5
希望している人がいるかもしれない	6
希望する人はいない	0
わからない	4
計	15名



問9 西九州大学大学院博士課程が設置された場合、進路先として検討しますか

進路先として検討したい	5
進路先として考えていない	5
わからない	4
博士号取得を考えていない	1
計	15名



栄養学系大学院の設置状況校情報

	大学			修士課程（博士前期課程）		博士後期課程					
	大学名	地域	基礎となる学部・学科	入学定員	専攻名	取得学位	専攻名	取得学位	入学定員	栄養学領域の入学定員	
国公立大学	名古屋市立大学	北海道	保健福祉学部/栄養学科	40	-	-	-	-	-	-	
	青森県立保健大学	青森	健康科学部/栄養学科	30	保健・医療・福祉政策システム領域	修士(健康科学)	保健・医療・福祉政策システム領域	博士(健康科学)	4	2	
	山形県立米沢栄養大学	山形	健康栄養学部/健康栄養学科	42	健康栄養科学専攻	修士(健康栄養科学)	-	-	-	-	
	千葉県立保健医療大学	千葉	健康科学部/栄養学科	25	-	-	-	-	-	-	
	お茶の水女子大学	東京	生活科学部/食物栄養学科	36	ライフサイエンス専攻	修士(生活科学)	ライフサイエンス専攻	博士(生活科学)	13	3	
	神奈川県立保健福祉大学	神奈川	保健福祉学部/栄養学科	40	栄養学専攻	修士(栄養学)	保健福祉学専攻	博士(保健福祉学)	5	1	
	新潟県立大学	新潟	人間生活学部/健康栄養学科	40	-	-	-	-	-	-	
	長野県立大学	長野	健康発達学部/食健康科学	30	ヘルス・ニュートリション専攻	修士(健康栄養科学)	-	-	-	-	
	静岡県立大学	静岡	食品栄養科学部/栄養生命科学科	25	食品栄養科学専攻	修士(食品栄養科学)	食品栄養科学専攻	博士(食品栄養科学)	10	1	
	滋賀県立大学	滋賀	人間文化学部/生活栄養学科	30	生活文化学専攻	修士(人間文化学)	生活文化学専攻	博士(人間文化学)	2	-	
	京都府立大学	京都	生命環境学部/食保健科学	25	応用生命科学専攻	修士(農学)	応用生命科学専攻	博士(農学、学術)	-	-	
	大阪府立大学	大阪	生活科学部/食品栄養科学科	35	食・健康科学コース	修士(生活科学)	食・健康科学コース	博士(生活科学)	15	1	
	大阪府立大学	大阪	総合リハビリテーション学類/栄養療法学専攻	30	総合リハビリテーション学類	修士(保健学)	総合リハビリテーション学類	博士(保健学)	5	1	
	兵庫県立大学	兵庫	環境人間学部/食環境栄養課程	40	環境人間学専攻	修士(環境人間学)	環境人間学専攻	博士(環境人間学)	6	-	
	奈良女子大学	奈良	生活環境学部/食物栄養学科	35	食物栄養学専攻	修士(生活環境学)	生活環境科学専攻	博士(生活環境学)	14	3	
	鳥根県立大学	鳥根	看護栄養学部/健康栄養学科	40	-	-	-	-	-	-	
	岡山県立大学	岡山	保健福祉学部/栄養学科	40	栄養学専攻	修士(栄養学)	保健福祉科学専攻	博士(栄養学)	5	2	
	県立広島大学	広島	人間文化学部/健康科学科	35	人間文化学専攻	修士(人間文化学)	-	-	-	-	
	山口県立大学	山口	看護栄養学部/栄養学科	40	健康福祉学専攻	修士(健康福祉学)	健康福祉学専攻	博士(健康福祉学)	3	-	
	徳島大学	徳島	医学部/医科栄養学科	50	人間栄養科学専攻	修士(栄養学)	人間栄養科学専攻	博士(栄養学)	9	9	
	高知県立大学	高知	健康栄養学部/健康栄養学科	40	人間生活学専攻	修士(生活科学)	人間生活学専攻	博士(生活科学)	3	3	
	福岡女子大学	福岡	国際文理学部/食・健康学科	35	栄養健康科学領域	修士(人間環境科学)	栄養健康科学領域	博士(人間環境科学)	3	-	
	長崎県立大学	長崎	看護栄養学部/栄養健康学科	40	人間健康科学専攻	修士(栄養学)	栄養科学専攻	博士(栄養学)	3	3	
	熊本県立大学	熊本	環境共生学部/共生学食環境学専攻	40	発展型領域	修士(環境共生学)	環境共生学専攻	博士(環境共生学)	3	-	
	私立大学	札幌保健医療大学	北海道	保健医療学部/栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
		天使大学	北海道	看護栄養学部/栄養学科	85	栄養管理学専攻	修士(栄養学)	栄養管理学専攻	博士(栄養学)	2	2
		藤女子大学	北海道	人間生活学部/食物栄養学科	80	食物栄養学専攻	修士(食物栄養学)	-	-	-	-
		北海道文教大学	北海道	人間科学部/健康栄養学科	150	健康栄養科学専攻	修士(健康栄養科学)	-	-	-	-
		酪農学園大学	北海道	食と健康学類/管理栄養士コース	40	食品栄養科学専攻	修士(食品栄養科学)	食品栄養科学専攻	博士(食品栄養科学)	2	2
		東北女子大学	青森	家政学部/健康栄養学科	40	-	-	-	-	-	-
		盛岡大学	岩手	栄養科学部/栄養科学科	80	-	-	-	-	-	-
		宮城学院女子大学	宮城	生活科学部/食品栄養学科	100	健康栄養学専攻	修士(健康栄養学)	-	-	-	-
		尚絅学院大学	宮城	健康栄養学群/健康栄養学類一	80	健康栄養科学専攻	修士(栄養学)	-	-	-	-
		仙台白百合女子大学	宮城	人間学部/健康栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
		東北生活文化大学	宮城	家政学部/家政学/健康栄養学専攻	40	-	-	-	-	-	-
		郡山女子大学	福島	家政学部/食物栄養学科	80	人間生活学専攻	修士(家政学)	人間生活学専攻	博士(家政学)	3	3
つくば国際大学		茨城	医療保健学部/保健栄養学科	40	-	-	-	-	-	-	
茨城キリスト教大学		茨城	生活科学部/食物健康科学科	80	食物健康科学専攻	修士(食物健康科学)	-	-	-	-	
常磐大学		茨城	人間科学部/健康栄養学科	80	-	-	-	-	-	-	
桐生大学		群馬	医療保健学部/栄養学科	60	-	-	-	-	-	-	
高崎健康福祉大学		群馬	健康福祉学部/健康栄養学科	80	食品栄養学専攻	修士(食品栄養学)	食品栄養学専攻	食品栄養学	2	2	
東洋大学		群馬	食品環境学部/健康栄養学科	100	食環境科学専攻	修士(食環境科学)	食環境科学専攻	食環境科学	2	2	
十文字学園女子大学		埼玉	人間生活学部/健康栄養学科	120	食物栄養学専攻	修士(栄養学)	食物栄養学専攻	栄養学	2	2	
女子栄養大学		埼玉	栄養学部/実践栄養学科	200	栄養学専攻	修士(栄養学)	栄養学専攻	栄養学	3	3	
城西大学		埼玉	薬学部/医療栄養学科	100	-	-	-	-	-	-	
人間総合科学大学		埼玉	人間科学部/健康栄養学科	80	健康栄養科学専攻	修士(健康栄養科学)	-	-	-	-	
東都医療大学		埼玉	管理栄養学部/管理栄養学科	80	-	-	-	-	-	-	
淑徳大学		千葉	看護栄養学部/栄養学科	80	-	-	-	-	-	-	
聖徳大学		千葉	人間栄養学部/人間栄養学科	200	人間栄養学専攻	修士(栄養学)	人間栄養学専攻	博士(栄養学)	3	3	
和洋女子大学		千葉	家政学部/健康栄養学科	120	総合生活専攻	修士(家政学)	総合生活専攻	博士(家政学)	3	3	
共立女子大学		東京	家政学部/食物栄養学科	50	食物学専攻	修士(家政学)	人間生活学専攻	博士(学術)	3	3	
駒沢女子大学		東京	人間健康学部/健康栄養学科	80	-	-	-	-	-	-	
実践女子大学		東京	生活科学部/食生活科学科	70	食物栄養学専攻	修士(食物栄養学)	食物栄養学専攻	博士(食物栄養学)	2	2	
昭和女子大学		東京	生活科学部/管理栄養学科	72	生活科学研究専攻	修士(栄養学)	-	-	-	-	
大妻女子大学		東京	家政学部/食物学/管理栄養士専攻	50	人間生活科学専攻	修士(生活科学)	人間生活科学専攻	博士(生活科学)	3	3	
帝京平成大学		東京	健康メディカル学部/健康栄養学科	77	健康栄養学専攻	修士(健康科学)	健康科学専攻	博士(健康科学)	5	1	
東京医療保健大学		東京	医療保健学部/医療栄養学科	100	医療栄養学領域	修士(医療栄養学)	-	-	-	-	
東京家政学院大学		東京	人間栄養学部/人間栄養学科	140	栄養学専攻	修士(栄養学)	-	-	-	-	
東京家政大学		東京	家政学部/栄養学科	160	健康栄養学専攻	修士(家政学)	人間生活学専攻	博士(学術)	3	-	
東京聖栄大学		東京	健康栄養学部/管理栄養学科	80	-	-	-	-	-	-	
東京農業大学	東京	応用生物科学部/栄養科学科	120	食品栄養学専攻	修士(食品栄養学)	食品栄養学専攻	博士(食品栄養学)	2	2		
日本女子大学	東京	家政学部/食物学	50	食物・栄養学専攻	修士(家政学)	人間発達学専攻	博士(学術)	5	-		
鎌倉女子大学	神奈川	家政学部/管理栄養学科	120	-	-	-	-	-	-		
関東学院大学	神奈川	栄養学部/管理栄養学科	100	-	-	-	-	-	-		
神奈川工科大学	神奈川	応用バイオ科学部/栄養生命科学科	80	-	-	-	-	-	-		
相模女子大学	神奈川	栄養科学部/管理栄養学科	100	栄養科学専攻	修士(栄養科学)	栄養科学専攻	博士(栄養科学)	2	2		
文教大学	神奈川	健康栄養学部/管理栄養学科	100	-	-	-	-	-	-		
新潟医療福祉大学	新潟	健康科学部/健康栄養学科	40	健康栄養学分野	修士(健康科学)	医療福祉学専攻	博士(保健学)	10	-		
金沢学院大学	石川	人間健康学部/健康栄養学科	80	-	-	-	-	-	-		
仁愛大学	福井	人間生活学部/健康栄養学科	75	-	-	-	-	-	-		
山梨学院大学	山梨	健康栄養学部/管理栄養学科	40	-	-	-	-	-	-		
松本大学	長野	人間健康学部/健康栄養学科	70	健康科学研究科	修士(健康科学)	健康科学専攻	博士(健康科学)	2	1		

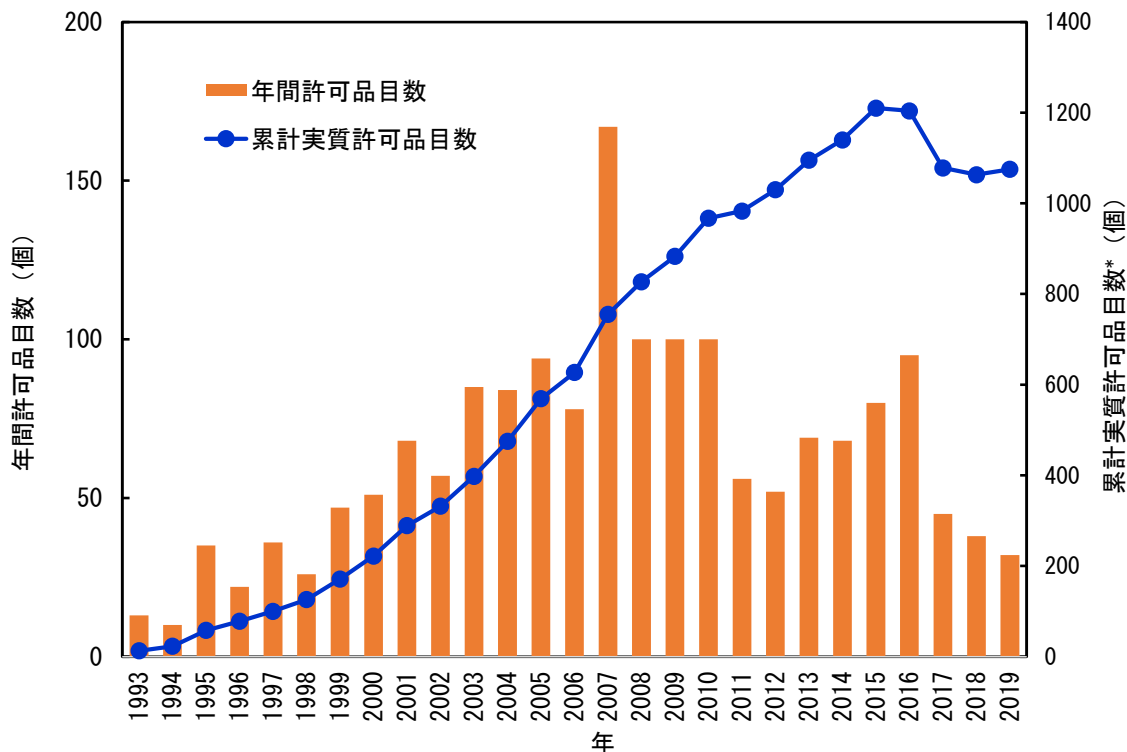
大学名	大学			修士課程 (博士前期課程)		博士後期課程			
	地域	基礎となる学部・学科	入学定員	専攻名	取得学位	専攻名	取得学位	入学定員	栄養学領域の入学定員
岐阜女子大学	岐阜	家政学部/健康栄養学科	160	生活科学研究科	修士(生活科学)	-	-	-	-
東海学院大学	岐阜	健康福祉学部/管理栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
常葉大学	静岡	健康プロデュース学部/健康栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
中部大学	愛知	応用生物学部/食品栄養科学科	80	生命医科学専攻/保健医療専攻	修士(生命医科学)	生命医科学専攻	博士(生命医科学)	2	-
東海学園大学	愛知	健康栄養学部/管理栄養学科	120	-	-	-	-	-	-
名古屋学芸大学	愛知	管理栄養学部/管理栄養学科	160	-	修士(栄養科学)	栄養科学研究科栄養科学専攻	博士(栄養科学)	2	2
名古屋経済大学	愛知	人間生活科学部/管理栄養学科	80	栄養管理専攻	修士(栄養管理)	-	-	-	-
名古屋生活大学	愛知	健康生活学部/健康栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
愛知学院大学	愛知	心身科学部/健康栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
愛知学泉大学	愛知	家政学部/家政学科	80	-	-	-	-	-	-
金城学院大学	愛知	生活環境学部/環境栄養学科	80	消費者科学専攻	修士(消費者科学)	人間生活学専攻	博士(学術)	3	-
至学館大学	愛知	健康科学部/栄養科学科	80	健康科学専攻	修士(健康科学)	-	-	-	-
修文大学	愛知	健康栄養学部/管理栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
椋山女学園大学	愛知	生活科学部/管理栄養学科	120	食品栄養科学専攻	修士(生活科学)	人間生活科学専攻	博士(人間生活科学)	3	2
愛知淑徳大学	愛知	健康医療科学部/健康栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
鈴鹿医療科学大学	三重	保健衛生学部/医療栄養学科	40	医療科学専攻	修士(医療科学)	医療科学専攻	博士(医療科学)	5	-
京都華頂大学	京都	現代家政学部/食物栄養学科	60	-	-	-	-	-	-
京都光華女子大学	京都	健康科学部/健康栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
京都女子大学	京都	家政学部/食物栄養学科	120	食物栄養学専攻	修士(食物学)	生活環境学専攻	博士(家政学)	2	-
同志社女子大学	京都	生活科学部/食物栄養科学科	80	食物栄養科学専攻	修士(食物栄養科学)	-	-	-	-
龍谷大学	京都	農学部/食品栄養科学科	80	食農科学専攻	修士(食農科学)	食農科学専攻	博士(食農科学)	5	1
羽衣国際大学	大阪	人間生活学部/食物栄養学科	70	-	-	-	-	-	-
関西福祉科学大学	大阪	健康福祉学部/福祉栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
千里金蘭大学	大阪	生活科学部/食物栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
相愛大学	大阪	人間発達学部/発達栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
大阪樟蔭女子大学	大阪	健康栄養学部/健康栄養学科	120	人間栄養学専攻	修士(人間栄養学)	-	-	-	-
大阪青山大学	大阪	健康科学部/健康栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
帝塚山学院大学	大阪	人間科学部/食物栄養学科	80	人間科学専攻	修士(人間科学)	-	-	-	-
梅花女子大学	大阪	食文化学部/管理栄養学科	40	-	-	-	-	-	-
大手前大学	兵庫	健康栄養学部/管理栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
園田学園女子大学	兵庫	人間健康学部/食物栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
甲子園大学	兵庫	栄養学部/栄養学科	120	食品栄養学専攻	修士(栄養学)	食品栄養学専攻	博士(栄養学)	2	2
甲南女子大学	兵庫	医療栄養学部/医療栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
神戸学院大学	兵庫	栄養学部/栄養学科/管理栄養学専攻	95	栄養学専攻	修士(栄養学)	食品薬品総合科学専攻	博士(栄養学)	2	2
神戸女子大学	兵庫	家政学部/管理栄養士養成課程	150	健康栄養学専攻	修士(健康栄養学)	健康栄養学専攻	博士(食物栄養学)	2	2
神戸松蔭女子学院大学	兵庫	人間科学部/食物栄養学科	60	-	-	-	-	-	-
武庫川女子大学	兵庫	生活環境学部/食物栄養学科	200	食物栄養学専攻	修士(食物栄養学)	食物栄養学専攻	博士(食物栄養学)	2	2
兵庫大学	兵庫	健康科学部/栄養マネジメント学科	80	-	-	-	-	-	-
畿畿大学	奈良	健康科学部/健康栄養学科	90	健康科学専攻	修士(健康科学)	健康科学専攻	博士(健康科学)	3	1
帝塚山大学	奈良	現代生活学部/食物栄養学科	120	-	-	-	-	-	-
近畿大学	奈良	農学部/食品栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
くらしき作陽大学	岡山	食文化学部/栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
ノートルダム清心女子大学	岡山	人間生活学部/食品栄養学科	80	食品栄養学専攻	修士(学術)	-	-	-	-
岡山学院大学	岡山	人間生活学部/食物栄養学科	40	-	-	-	-	-	-
川崎医療福祉大学	岡山	医療技術学部/臨床栄養学科	50	臨床栄養学専攻	修士(臨床栄養学)	健康科学専攻	博士(健康科学)	8	1
中国学園大学	岡山	現代生活学部/人間栄養学科	80	人間栄養学専攻	修士(栄養学)	-	-	-	-
美作大学	岡山	生活科学部/食物学	80	生活科学専攻	修士(学術)	-	-	-	-
安田女子大学	広島	家政学部/管理栄養学科	120	健康生活専攻	修士(家政学)	-	-	-	-
広島国際大学	広島	医療栄養学部/医療栄養学科	60	-	-	-	-	-	-
広島修道大学	広島	健康科学部/健康栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
広島女学院大学	広島	人間生活学部/管理栄養学科	70	生活科学専攻	修士(人間生活学)	-	-	-	-
広島文教女子大学	広島	人間科学部/人間栄養学科	70	-	-	-	-	-	-
比治山大学	広島	健康栄養学部/管理栄養学科	70	-	-	-	-	-	-
福山大学	広島	生命工学部/生命栄養科学科	50	-	-	-	-	-	-
東亜大学	山口	医療学部/健康栄養学科	30	医療科学専攻	-	医療科学専攻	博士(医療科学)	3	-
四国大学	徳島	生活科学部/管理栄養士養成課程	70	人間生活科学専攻	修士(人間生活科学)	-	-	-	-
徳島文理大学	徳島	人間生活学部/食物栄養学科	90	食物学専攻	修士(食物学)	人間生活学専攻	博士(学術)	3	-
九州栄養福祉大学	福岡	食物栄養学部/食物栄養学科	100	健康栄養学専攻	修士(健康科学)	-	-	-	-
九州女子大学	福岡	家政学部/栄養学科	90	-	-	-	-	-	-
西南女学院大学	福岡	保健福祉学部/栄養学科	100	-	-	-	-	-	-
中村学園大学	福岡	栄養科学部/栄養科学科	200	栄養科学専攻	修士(栄養科学)	栄養科学専攻	博士(栄養科学)	3	3
西九州大学	佐賀	健康栄養学部/健康栄養学科	120	健康栄養学専攻	修士(健康栄養学)	-	-	-	-
活水女子大学	長崎	健康生活学部/食生活健康学科	60	-	-	-	-	-	-
長崎国際大学	長崎	健康管理学部/健康栄養学科	80	健康栄養学専攻	修士(健康管理学)	-	-	-	-
尚綱大学	熊本	生活科学部/栄養科学科	70	-	-	-	-	-	-
別府大学	大分	食物栄養科学部/食物栄養学科	70	食物栄養学専攻	修士(栄養学)	-	-	-	-
南九州大学	宮崎	健康栄養学部/管理栄養学科	60	食品科学専攻	修士(農学)	-	-	-	-
鹿児島純心女子大学	鹿児島	看護栄養学部/健康栄養学科	40	-	-	-	-	-	-
沖縄大学	沖縄	健康栄養学部/管理栄養学科	80	-	-	-	-	-	-
全国における学部レベルの栄養学教育の定員 (管理栄養士養成校入学定員)			11,027 名	全国における栄養学系大学院博士課程の定員 (複数領域で入学定員が設定された大学院は栄養学領域の定員を推定)		83 名			
九州における学部レベルの栄養学教育の定員 (管理栄養士養成校入学定員)			1,185 名	九州における栄養学系大学院博士課程の定員 (複数領域で入学定員が設定された大学院は栄養学領域の定員を推定)		6 名			

私立大学

九州各県の公設試験場・研究所等の設置状況

No	県	機関名
1	福岡	工業技術センター
2		水産海洋技術センター
3		農林業総合試験場
4		農業大学校
5		保健環境研究所
6		食肉衛生検査所
7		中央家畜保健衛生所
8		北部家畜保健衛生所
9		両筑家畜保健衛生所
10		筑後家畜保健衛生所
11	佐賀	上場農営センター
12		農業試験研究センター
13		農業技術防除センター
14		玄海水産振興センター
15		有明水産振興センター
16		窯業技術センター
17		工業技術センター
18		衛生薬業センター
19		シンクロトロン光研究センター
20		果樹試験場
21		茶業試験場
22		畜産試験場
23		林業試験場
24		農業大学校
25		中部家畜保健衛生所
26		北部家畜保健衛生所
27		西部家畜保健衛生所
28	長崎	環境保健研究センター
29		工業技術センター
30		窯業技術センター
31		農業技術開発センター
32		肉用牛改良センター
33		総合水産試験場
34		農業大学校
35		病害虫防除所
36		諫早食肉衛生検査所
37		川棚食肉衛生検査所
38		中央家畜保健衛生所
39		県北家畜保健衛生所
40		県南家畜保健衛生所
41		五島家畜保健衛生所
42		壱岐家畜保健衛生所
43		対馬家畜保健衛生所
44		熊本
45	林業研究・研修センター	
46	水産研究センター	
47	産業技術センター	
48	農業大学校	
49	中央家畜保健衛生所	
50	阿蘇家畜保健衛生所	
51	城南家畜保健衛生所	
52	天草家畜保健衛生所	

No	県	機関名
53	大分	産業科学技術センター
54		衛生環境研究センター
55		農林水産研究指導センター農業研究部
56		農林水産研究指導センター畜産研究部
57		農林水産研究指導センター林業研究部
58		農林水産研究指導センター水産研究部
59		農業大学校
60		食肉衛生検査所
61		大分家畜保健衛生所
62		豊後家畜保健衛生所
63	玖珠家畜保健衛生所	
64	宇佐家畜保健衛生所	
65	宮崎	総合農業試験場
66		畜産試験場
67		水産試験場
68		工業技術センター
69		食品開発センター
70		林業技術センター
71		木材利用技術センター
72		病害虫防除・肥料検査センター
73		農業大学校
74		宮崎家畜保健衛生所
75	都城家畜保健衛生所	
76	延岡家畜保健衛生所	
77	鹿児島	工業技術センター
78		森林技術総合センター
79		農業開発総合センター
80		水産技術開発センター
81		畜産試験場
82		肉用牛改良研究所
83		農業大学校
84		鹿児島中央家畜保健衛生所
85		南薩家畜保健衛生所
86		北薩家畜保健衛生所
87	始良家畜保健衛生所	
88	曾於家畜保健衛生所	
89	肝属家畜保健衛生所	
90	沖縄	工業技術センター
91		工芸振興センター
92		農業研究センター
93		畜産研究センター
94		森林資源研究センター
95		水産海洋技術センター
96		栽培漁業センター
97		家畜改良センター
98		病害虫防除技術センター
99		海洋深層水研究所
100	中央家畜保健衛生所	
101	家畜衛生試験場	
102	農業大学校	



資料 5-1 特定保健用食品の表示許可・承認品目の推移 (2019年12月末現在)

*累計実質許可品目数＝累計許可品目数－同失効品目数

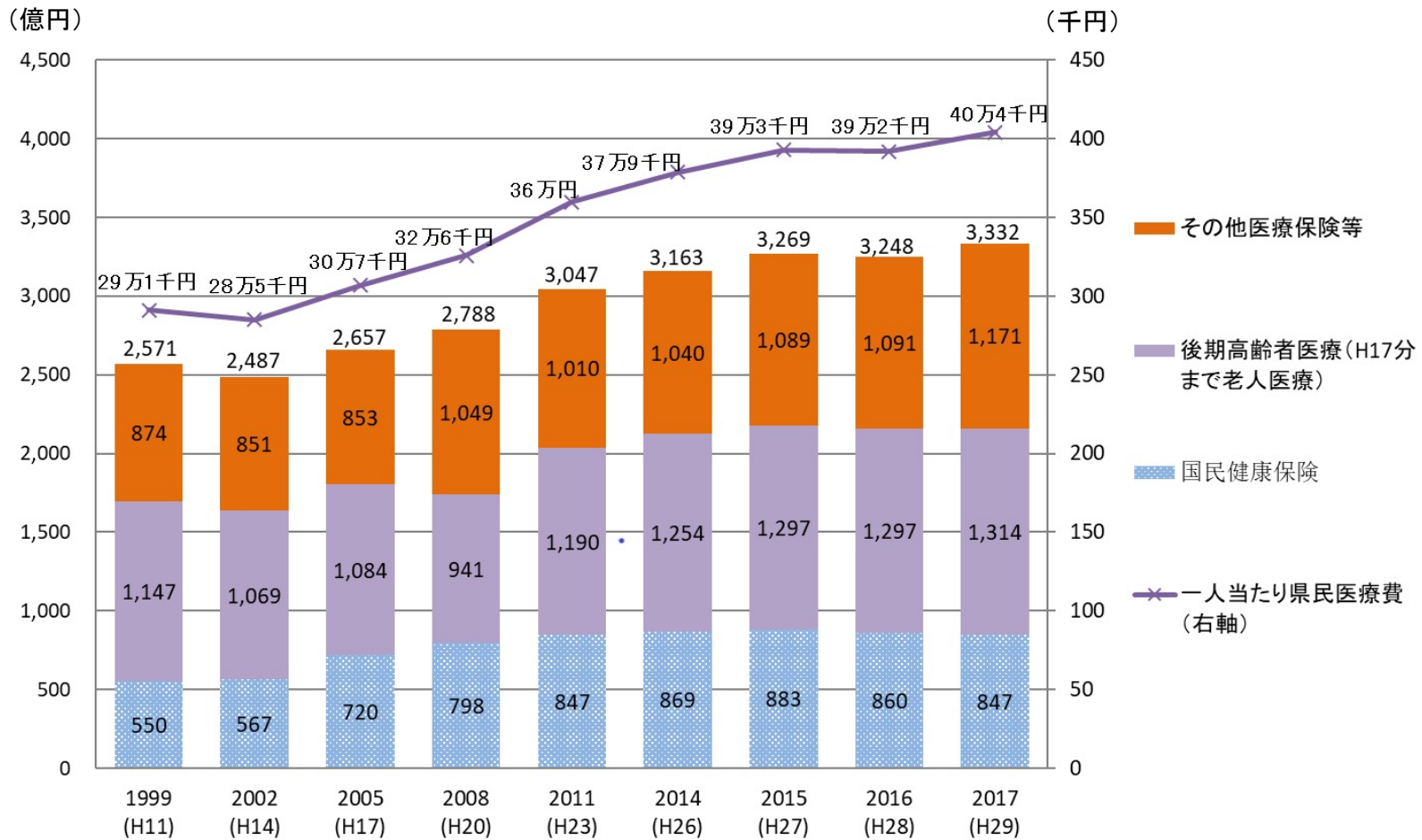
出典：公益財団法人 日本健康・栄養食品協会 <https://www.jhnfa.org/tokuho2019.pdf>



資料 5-2 特定保健用食品と機能性表示食品の市場規模

出典：食品産業新聞社 (2019年5月12日)

<https://www.ssnpc.co.jp/news/beverage/2019/05/2019-0509-1653-14.html>



資料 6 佐賀県の総医療費、一人当たり医療費の推移

出典：国民健康保険の現状と課題（佐賀県健康福祉部国民健康保険課）2020年6月